



メキシコペソ

ポイント① 2016年も大幅下落

2016年のメキシコペソの対米ドル相場は、原油価格の急落などにより2月にかけて大きく下落した後、メキシコ中央銀行による緊急利上げや原油価格の持ち直しなどを受け、やや反発する局面もありました。しかし、9月以降再び急落し、9月下旬には対米ドルで史上最安値を更新して20ペソに迫る水準まで下落しました。

ポイント② 下落の要因は政治リスク

主要な新興国・高金利通貨が2016年に入り反発し、対米ドルのキャリーリターンでみるとプラスのリターンとなる中で、メキシコペソはマイナスとなっています。

下落の大きな要因として、政治リスクの高まりが挙げられます。米国大統領選挙の共和党候補であるトランプ氏は、メキシコ系移民による本国への多額の労働者送金を問題視し、不法移民の取り締まり強化や北米自由貿易協定（NAFTA）の見直しについても公言しています。メキシコの米国向け輸出の割合は大きく、また移民からの送金は同国の堅調な個人消費を支える一因となっています。9月に入り世論調査でトランプ氏の支持率上昇が判明すると、メキシコ経済への悪影響が懸念され、メキシコペソは大きく売られました。

ポイント③ しばらくは不安定な値動きに

メキシコの景気は勢いを欠くものの、ファンダメンタルズは、新興国の中では相対的に安定しています。9月のインフレ率(消費者物価指数)は、前年同月比+2.97%と、メキシコ中央銀行のインフレ目標の中心値(+3.0%)を下回っています。経常収支は、原油安などを背景に赤字が拡大していますが、その原油価格も底入れ感が出始めています。

メキシコ中央銀行は、インフレ率がインフレ目標レンジで安定推移している中で、ペソ安がインフレ圧力となることを警戒し、通貨を下支えする姿勢を示してきました。9月30日には今年3回目となる利上げを決定しました。同中銀は今後、利上げや為替介入などを通じて為替変動に配慮した金融政策運営を行なうとみられます。

メキシコペソの動向は、今後しばらくは米国大統領選挙の行方や、米国の金融政策などに左右される不安定な展開となることが予想されますが、政治リスクなどの不透明感が後退すれば、過去比較で割安な水準にあるペソが市場で見直される局面があると考えられます。

図1：為替レートの推移

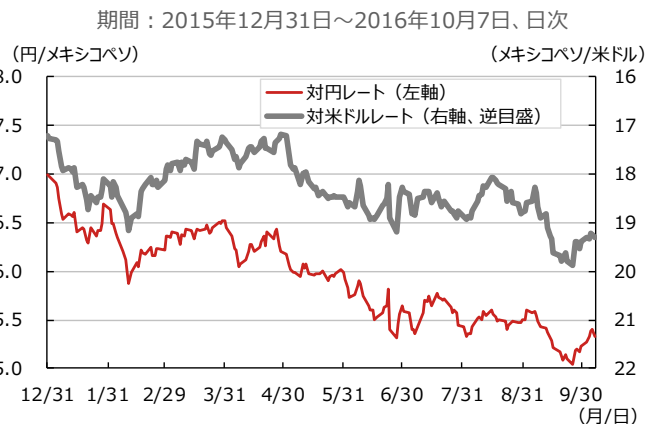
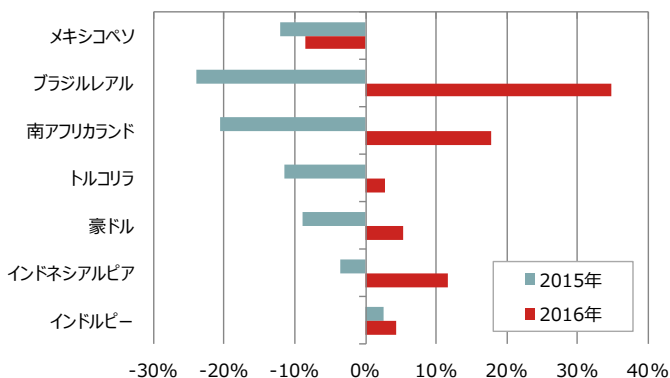


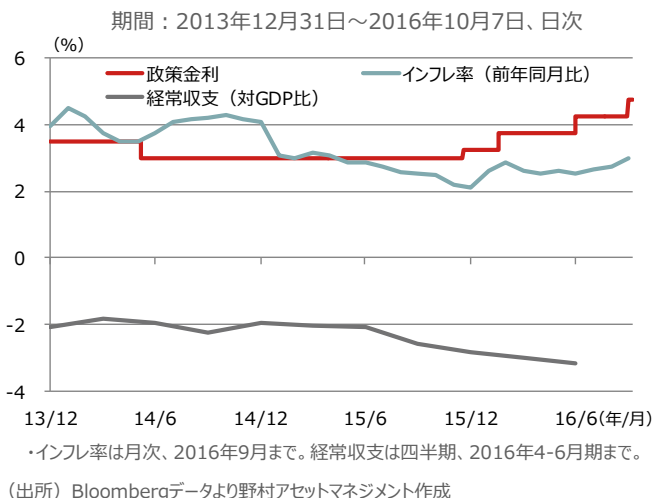
図2：各通貨のキャリーリターン(対米ドル)*



2015年：2014年12月31日～2015年12月31日
2016年：2015年12月31日～2016年10月7日

*各通貨の対米ドルのリターンに米ドルとの金利差を加算したリターン。

図3：政策金利とインフレ率、経常収支の推移



当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

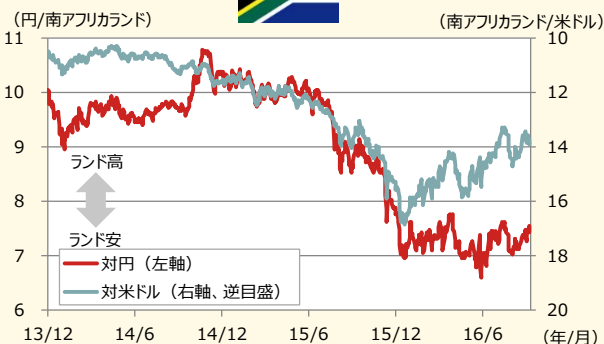
【ご参考】各国の為替レート(対米ドル、対円)

期間：2013年12月31日～2016年10月7日、日次

トルコ



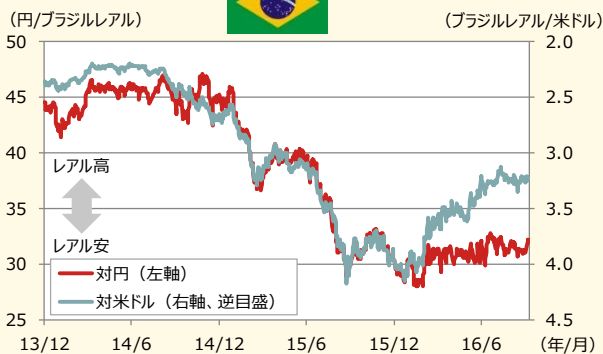
南アフリカ



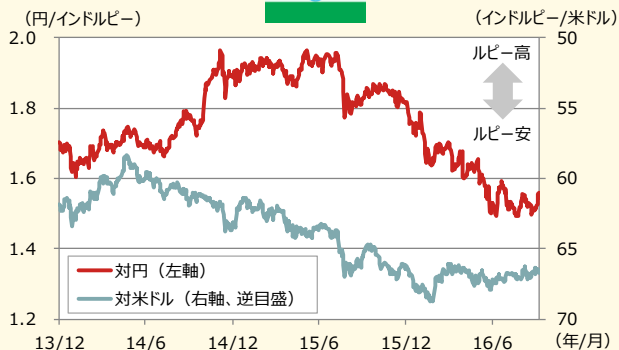
メキシコ



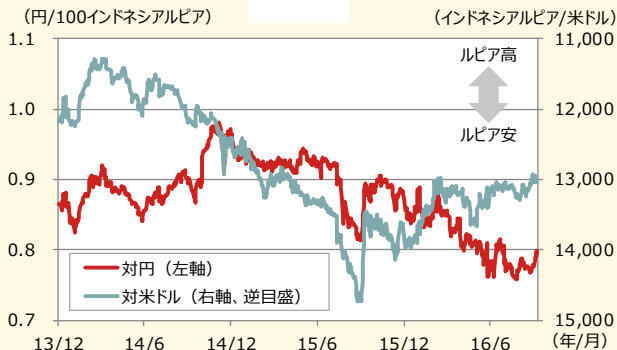
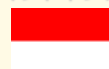
ブラジル



インド



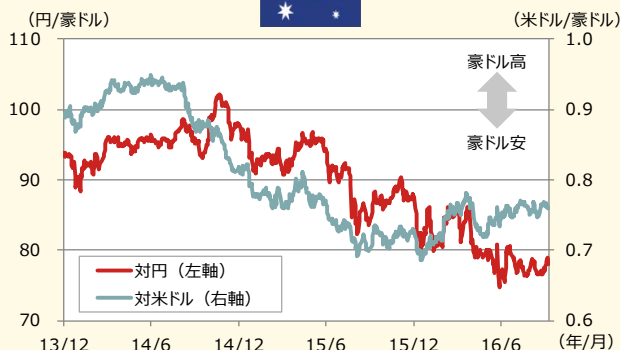
インドネシア



中国



オーストラリア



(出所) ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しないし保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認ください。ご自身でご判断ください。

【ご参考】各通貨の実質実効為替レートとキャリーリターン(対米ドル)*

期間：1999年12月31日～2016年10月7日、日次



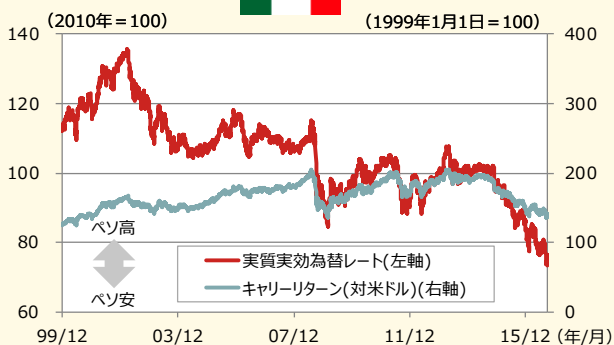
トルコリラ



南アフリカランド



メキシコペソ



ブラジルレアル



インドルピー



インドネシアルピア



中国元



オーストラリアドル



* 各通貨の対米ドルのリターンに米ドルとの金利差を加算したリターン。ただし、中国元はブルームバーグデータが算出されていないため掲載していません。

(出所) ブルームバーグデータより野村アセットマネジメント作成

当資料は、投資環境に関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したご参考資料です。投資勧誘を目的とした資料ではありません。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料に示された意見等は、当資料作成日現在の当社の見解であり、事前の連絡なしに変更される事があります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の投資収益を示唆しない保証するものではありません。投資に関する決定は、お客様ご自身でご判断なさるようお願いいたします。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡します投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【野村アセットマネジメントからのお知らせ】

■投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし、投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価格が変動します。したがって投資家の皆様のご投資された金額を下回り損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご投資に当たっては投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をよくご覧下さい。

■投資信託に係る費用について

2016年10月現在

| | |
|--|---|
| <p>ご購入時手数料 《上限4.32%(税込み)》</p> | <p>投資家が投資信託のご購入のお申込みをする際に負担する費用です。販売会社が販売に係る費用として受け取ります。手数料率等については、投資信託の販売会社に確認する必要があります。投資信託によっては、換金時(および償還時)に「ご換金時手数料」等がかかる場合もあります。</p> |
| <p>運用管理費用(信託報酬) 《上限2.1816%(税込み)》</p> | <p>投資家はその投資信託を保有する期間に応じてかかる費用です。委託会社は運用に対する報酬として、受託会社は信託財産の保管・管理の費用として、販売会社は収益分配金や償還金の取扱事務費用や運用報告書の発送費用等として、それぞれ按分して受け取ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> *一部のファンドについては、運用実績に応じて報酬が別途かかる場合があります。 *ファンド・オブ・ファンズの場合は、一部を除き、ファンドが投資対象とする投資信託証券の信託報酬等が別途かかります。 |
| <p>信託財産留保額 《上限0.5%》</p> | <p>投資家が投資信託をご換金する際等に負担します。投資家の換金等によって信託財産内で発生するコストをその投資家自身が負担する趣旨で設けられています。</p> |
| <p>その他の費用</p> | <p>上記の他に、「組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料」、「ファンドに関する租税」、「監査費用」、「外国での資産の保管等に要する諸費用」等、保有する期間等に応じてご負担いただく費用があります。運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p> |

上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

《ご注意》上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、野村アセットマネジメントが運用するすべての公募投資信託のうち、投資家の皆様にご負担いただく、それぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前によく投資信託説明書(交付目論見書)や契約締結前交付書面をご覧下さい。

投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断下さい。

野村アセットマネジメント

商号：野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 加入協会：一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会